



## 人から「信頼」と「共感」を得やすい話し方

人から「信頼」と「共感」を得やすい話し方をご存知でしょうか？

実は失敗談が人の心をつかむ【信頼と共感を得やすい】方法なんです。

失敗談は一見マイナスなように思えますが、伝え方次第では「信頼」と「共感」を得ることにつながります。

今の時代 *YouTube* や *Twitter*、ブログなどで過去の失敗を話してくれている人がたくさんいますよね。

失敗談を話すことはとても恥ずかしいし勇気がいることですが、失敗をさらけ出せる人が結果的には人から話も聞いてもらいやすく注目され成功しやすいという話をしていきます。

失敗をすることは誰にでもありますが、それを人に話すのは簡単なことではありませんよね。できるものなら墓場まで持っていきたいと思う人もいないのでしょうか？

ましてや多くの人が見る可能性のあるネットという場所で「こんな失敗をしました」と発信するのは、すごく勇気がいる行動です。

そんな失敗談を話す人が好感を持たれやすいのは次の2つの理由があると思います。

- ・まず信頼できる

→ 自分にとってマイナスなことも言っているから、プラスなことを言うときも嘘が無いと想像できる。

- ・そして共感しやすい

→ ネガティブな体験には人を引き付ける力があり、「この人でも失敗するんだ」と応援したくなるものなんです。



ネットを見ていると、「〇〇で成功しました！」と話している人がたくさんいますよね。

成功者の経験を聞くと希望が持てますし、どうしたら自分も同じように成功できるのか勉強になるので「人の成功体験」というのはとても有益なものですし、勇気をもらえます。

その成功体験の話に信憑性を持たせる方法が、失敗談も話すことだと思うんです。

ここで大切なことは失敗談しか話さないのはダメですよ。

失敗談も話した上で成功体験を話すことが「信頼」に繋がっていくんです。

次に、上手くいかなかったりつらい経験をした人には「共感」が集まるという話をします。

人間はどちらかというと「人のポジティブな話よりネガティブな話に興味を持つ」という習性があります。

テレビやネットのニュースなどでも、日々ネガティブな内容が多く報道されているのは、その方が視聴率が上がるからでしょうね。

人が成功した話というのは最初は称賛して持ち上げて盛り上がりますが、次第に嫉妬を生んで誹謗中傷や荒探しがはじまっていく傾向がとてもつよいです。

また、日常生活でも人の成功体験よりも失敗談を話す友人がいたら、熱心に聞こうとしますよね。

成功体験やすごいなあと思うような話って自慢話に聞えて、なんか嫌だなあとか心に壁を作られやすいんですよね

反対に失敗談だと、人は失敗を避けたい気持ちがかく強いので、失敗した人から学ぼうとするからよく話を聞こうとするんです。



こんなふうにしたら上手くいった！」という話だけではなく「こういう失敗もしたことがある」とあえて話すのも、人をひきつけ、人の注意を引くための有効な手段なんだと思います。

注意をひかなければ聞いてもらえないですからね。

話を聞いてもらうにはどうすべきかを考えないといけないんです。

ただ、失敗した経験だけを発信し続けても自分のブランディングにつなげるのは難しいというのが正直なところですよ。

- ・「失敗 → 失敗 → 失敗」

こういう話だと、応援できても真似はできないですよ。

むしろ同情して終わりです。

- ・「失敗 → 失敗 → 成功」

これだと成功までの過程が自分の売りになるので、失敗から生まれるストーリーが個人の魅力になりますね。

失敗すること自体に意味があるのではなく、そこから生まれるストーリーがその人の魅力の一つになるのだと思います。

ちなみに、ネガティブなことばかりや失敗談ばかり話し続けると人は離れていきます。

愚痴や悪口ばかり言ってるように思えて共感も信頼も得られないんですよ。

ですので失敗談と成功体験のバランスが大事ですね。

人間は人から良く見られたいという気持ちが常にあるので、自分の評価が下がる可能性がある内容はできるだけ隠したいと思うものです。



そんな中で「失敗しちゃいました！」と堂々と言える人はやっぱり目をひきます。

もし目の前に成功した人が2人いたとして、一人は自分の成功した話だけを話す人。もう一人は「失敗談」も織り交ぜながら話してくれている人がいたら後者のほうがより多くの人が集まると思います。

失敗以外にも色んな体験を包み隠さず公開している人って、親しみを持たれやすいとも言えます。

「僕は実家が代々お金持ちでお金に不自由したこともないし、親の支援と人脈を使って起業して成功したんだよ。海外旅行と車が趣味で仕事は社員に任せて自動化できるものはどんどん自動化して自分の時間を楽しんでいるよ！きみもどうだい？」

という人と

「起業当時はお金にも苦労して人脈もお金もコネもない。寝る時間もおしんで働いても生活は楽にならず。生活資金も底をついてつらかったんだけどある出会いがあって最初は1万円の利益だったものが10万になって30万になって・・・と」

こんな感じで苦労から成功へのステップのほうが聞いてもらいやすいんですね。

映画のストーリーはだいたいこんな感じの苦労から成功の流れですね。

今話題の鬼滅も昔はやったロッキーも成長ストーリーっていうのかな。

人に話をきいてもらって共感を得るには、王道というものが昔からあるということですね。

完璧な人間として話すよりも失敗談を話すことで同じ人間なんだなと感じてくれるとお相手も本音を話してくれることにつながりますし、むしろ積極的に失敗談を話して場が盛り上がってお相手が今後自分と同じような失敗をしないことに繋がったらそれはそれで嬉しいじゃないですか（笑）

過去の失敗談も今となっては自分の財産ですよ(^^♪

よければ参考にしてみてください

Copyright © 2021 シンメトリックバランスアカデミー. All Rights Reserved.